

# 国際標準化に伴い、 ヘモグロビン・エイワンシー HbA1cが変わります

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。  
HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、  
過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、  
糖尿病の診断にも使われます。

**2012年4月から、新しいHbA1c(NGSP)が使われます。**

これまでのものから、およそ0.4%高くなります。  
以前のHbA1cの数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。

これまで

2012年4月からNGSP値へ

例えば **6.1%**  $+0.4\%$  **6.5%**

新しいHbA1c(NGSP)値が6.5%以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。

6.0%～

6.5%～

糖尿病が  
否定できない

糖尿病が  
強く疑われる